

学外連携セミナー：ライデン大学研修

ハイブリッド医療人養成コース 医学系大学院生 4年 下山 孝一郎

平成 27 年 1 月から 6 月まで学外連携セミナーとして、オランダライデン市にある Center for Human Drug Research (以下 CHDR) および Leiden University Medical Centre (以下 LUMC) へ半年間短期留学を行ったので報告する。

私の留学期間を 3 つに分けるとすれば、住環境の整備や留学に際する諸手続に追われた 1 月、Image-guided surgery について勉強した 2 月と 3 月、指導担当であった Dr. Rissmann が関わる皮膚科領域の研究に関わった 4 月～6 月とすることができる。

渡航したのは平成 27 年の 1 月中旬であった。留学の話が出てから 1 年弱、実際の渡航日程と予定されていた 9 月頃からおよそ 4 ヶ月遅れの渡航となった。平成 26 年 6 月末で臨床から研究へと大学院生活がスタートしたが、渡航までの 6 ヶ月間は渡航調整や情報収集等に追われた。しかしこの準備期間があったため、2 週間前に決定した渡航日を混乱無く迎えることができた。

着任した CHDR はいわゆる治験施設である。人への投与開始である第一相、第二相臨床試験を中心に、あらゆる分野の多数の治験を進めており、LUMC や近隣企業と協力して治験ボランティアを募集してプロジェクトを進めている。シンポジウムの項で、滞在期間の前半に私が関わった Image-guided surgery について述べたので、本項では後半関わった皮膚科関連のプロジェクトについて述べる。

CHDR における私の直接の世話役だった Dr. Robert Rissmann は、自ら進める皮膚科領域のプロジェクトに参加してはどうかと提案してくれた。乾癬等に使用する軟膏 (Omiganan®) の治験に利用する、AquaFlux AF-200® (Bio 社) (写真 1) による皮膚から発する水分量の検証をデータ化した。本デバイスは、先端を皮膚に押しつけることにより、押しつけた皮膚領域から発する水分量を測定し、皮膚の湿潤環境を測定できるものであった。湿疹や健常皮膚から発する水分量を比較することで、軟膏の効果を数値で以て客観的に実証できることが期待されたが、プロジェクト中途での留学期間終了によって、プロジェクト途中でのデータを得るにとどまった。しかしそのデータは客観的有意性を証明できる可能性を示すものであった (秘匿性によりデータは非提示)。

留学期間の最終週に、CHDR スタッフを集めて 20 分間のプレゼンテーションを行ったが、その経験や、終了後の Farewell パーティーは決して忘れることのできない経験となった (写真 2)。

オランダ生活についてであるが、ライデン留学は妻と子供 3 人一家揃って渡航した。全員分の滞在許可や住民カードの取得、子供の学校探しに奔走し、安定したオランダ生活を開始するのに 1 ヶ月程度を要した。行った諸手続は細分化して後続の日本人向けに記事にしてアップロードした。

渡航して2ヶ月経過した頃、韓国人留学生の Dr. Lim 一家と共に所長の Prof. Cohen より自宅でのパーティーに招待された。オランダ料理と文化について色々と御教授いただき、大変楽しい時間を過ごさせていただいた（写真3）。

子供は日本人学校は距離が遠く、International スクールは学費が高額な上、定数いっぱい満員であったため、地元の公立の小学校へ入校した。幸いしたのは、小学校1年生に当たる長男の学年に、日本語を話せる男の子がいたことであった。これは本当に幸運だった。学校からのお知らせは全てオランダ語で通知が来るのだが、逐一ライデン大学日本語学科を卒業した保護者が訳してくださったのだ。ただ子供達を見ていて思ったことは、子供の遊びには言葉は必要ないのだな、ということだった。子供達は毎日現地の子供達に混ざって楽しそうに過ごせていた（写真4）。

週末はレンタカーで隣国のベルギーやドイツ、取れといわれて取得した夏期休暇にはフランスまで足を伸ばして観光を楽しむことができた。

本留学によって、とても濃い充実した6ヶ月間を私だけでなく家族も過ごすことができた。最後に本留学が実現するに当たってご尽力いただいた、当時長崎大学大学院研究科長の小路教授、腫瘍外科の永安教授、Leiden 大学の Prof. Beukers、Prof. Raap、Prof. Cohen、私生活において甚大なる手助けをいただいた、Hilhorst 夫妻（写真5）、Van Koaten 夫妻に深く感謝申し上げます。



<写真1 : AquaFlux AF-200® (Bio 社) >



<写真2 : Farewell party にて>
写真左上が Dr. Robert Rissmann



<写真 3 : Prof. Cohen 宅にて>
写真右から私、Dr. Lim、Prof.
Cohen



<写真 4 : Joppensz 小学校にて>
左上が中国人、写真真ん中と右上が
Van Koaten 夫妻



<写真 5 : 夫婦でライデン大学日本語学科卒の Hilhorst 夫妻と>